

岩手県高等学校文化連盟放送専門部

平成 25 年度 第 3 回理事会

平成 26 年 2 月 17 日(月) 15:00 ~ 17:00

盛岡北高等学校 南講義室

次第

開会	専門部長挨拶	自己紹介	議長選出	
報告	1 事業報告			
	(1) 大会事業			4
	(2) 講習会事業			5
	(3) 顧問研修事業			6
	(4) その他			6
	2 会計中間報告			
	(1) 一般会計中間報告			7
	(2) 事業費会計 NHK 杯県大会 決算報告			8
協議	1 事業費会計決算報告			
	(1) 事業費会計 新人大会 決算報告			9
	(2) 事業費会計 講習会事業 決算報告			10
	2 平成 26 年度事業の推進について			
	(1) 役員(改選期)			11
	(2) 事業計画			11
	3 その他			13
連絡	1 平成 26 年度以降の上位大会			
	(1) 確定している日程等			14
	(2) 第 61 回 NHK 杯全国高校放送コンテストについて			14
	(3) 第 38 回全国高等学校総合文化祭放送部門について			15
	(4) 第 18 回東北高等学校放送コンテストについて			15
	2 平成 27 年度の事業日程(予定)			16
	3 その他			
	(1) 盛岡支部主催番組講習会について			17
	(2) 県高文連理事会報告			17
	(3) 顧問メーリングリストについて			17
	(4) 旅費の計算について			17
	(5) 県高文連登録について			17
	(6) その他			17
閉会				
資料	平成 25 年度大会結果			18
	岩手県高等学校文化連盟放送専門部規約			18
	平成 25 年度高文連紀要原稿			18

<http://www2.iwate-ed.jp/housou/2013/bod20140217.pdf>

平成 25 年度役員 (理事校 26 校)

専門部長	岩手県立盛岡北高等学校長	内藤賢一	事務局校
副専門部長	岩手県立盛岡第四高等学校長	工藤良裕	次期事務局校
専門部代表理事	岩手県立盛岡北高等学校	田口キヨ	事務局長
専門部理事			
岩手県立盛岡第一高等学校	濱谷伸広・谷藤さなえ		平成 44～45 年度事務局校
岩手県立盛岡第二高等学校	小田諭		平成 32～33 年度事務局校
岩手県立盛岡第三高等学校	大内寿文		平成 34～35 年度事務局校
岩手県立盛岡第四高等学校	水車明子(監事)・園城寺隆英		次期事務局校
岩手県立盛岡北高等学校	田付晋也・清瀬剛志・熱海千乃・佐々木均・佐藤昇広(事務局)		
岩手県立盛岡南高等学校	細川明典・川崎博子		平成 36～37 年度事務局校
岩手県立不来方高等学校	千葉英二・小野寺晶子		平成 38～39 年度事務局校
岩手県立杜陵高等学校定時制	後藤靖行・佐藤素子		
岩手県立盛岡工業高等学校	川守徹也・太田原章克		平成 40～41 年度事務局校
岩手県立盛岡商業高等学校	高橋昭宏・日當稲子		平成 42～43 年度事務局校
盛岡市立高等学校	菊池博之(監事)・田村亜希子		平成 46～47 年度事務局校
岩手高等学校	松田満(盛岡支部理事)・堀江崇子		平成 28～29 年度事務局校
盛岡白百合学園高等学校	熊谷奈穂		平成 30～31 年度事務局校
岩手県立花巻北高等学校	金田知佐子(花巻支部理事)・高橋愛		
岩手県立黒沢尻北高等学校	曾我範晃(北上支部理事)・小野寺優		
専修大学北上高等学校	昆洋子・野村学		
岩手県立前沢高等学校	川原恵理子(奥州支部理事)・小野寺幸利		
岩手県立岩谷堂高等学校	都澤真生・佐々木実・野田啓志		
岩手県立大船渡高等学校	菊田光哉(気仙支部理事)		
岩手県立大船渡東高等学校	菊地晋哉		
岩手県立釜石高等学校	高橋篤志(釜石支部理事)・黄川田孝人・庄司晃子		
岩手県立大槌高等学校	高橋啓		
岩手県立宮古高等学校	山崎治子(宮古支部理事)・小成幸男		
岩手県立宮古工業高等学校	菊地達哉(上位大会担当)・和山真也		
	NHK 杯運営委員・高文連全国放送専門部理事・東北アナ朗事務局		
岩手県立久慈高等学校	木村飛雄馬(久慈支部理事)		
岩手県立福岡高等学校	松尾美幸(二戸支部理事)・阿部智則		

空席 一関支部理事

報告 1 事業報告

月	日	曜	事業名 (太字は生徒参加の事業)	会場	主催者 (太字は主催)
4	9	火	県高文連第1回理事会	サンセール盛岡	県高文連
4	25	木	理事総会・第1回理事会	盛岡北高	放送専門部
5	17	金	県高文連事務局長会議他	サンセール盛岡	県高文連
5	21	火	第65回岩手県高等学校総合体育大会開会式 司会 (盛岡第一・盛岡第二)	運動公園	協力事業 県高体連
6	3 4	月 火	第36回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第60回NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会 (23校・215+322名・195エントリー)	県民会館	放送専門部・NHK
7	1 2	月 火	第13回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト (7校・20名・13エントリー)	細野地区活性化センター	東北高文連 主管事業
7	13	土	アナウンス朗読講習会 (9校・35名)	NHK盛岡放送局	放送専門部
7	20	土	交通安全テレビCM制作講習会1 (4校・42名)	IBC岩手放送	協力事業 IBC岩手放送
7	22 25	月 木	第60回NHK杯全国高校放送コンテスト (9校・78名・24エントリー)	NHKホール他(東京)	全放連・NHK
7	25	木	Nコン番組制作セミナー (5校・44名)	NHKふれあいホール(東京)	全放連・NHK
7	27	土	交通安全テレビCM制作講習会2 (5校・49名)	IBC岩手放送	協力事業 IBC岩手放送
8	2	金	高文連全国放送専門部理事会	諫早文化会館	全国高文連
8	3 4	土 日	第37回全国高等学校総合文化祭(長崎大会) 放送部門(6校・22名・9エントリー)	諫早文化会館	全国高文連
8	10	土	短歌甲子園アナウンス講習会 (6校・25名)	おでって	盛岡支部協力事業
8	21 23	水 金	第8回全国高校生短歌大会 司会 (盛岡第一・盛岡第二・盛岡第三・盛岡市立・岩手・盛岡白百合)	姫神ホール・盛岡劇場	盛岡支部協力事業 盛岡市
9	6	金	第2回理事会	盛岡北高	放送専門部
9	15	日	セミナーサポート事業 放送講習会 (16校・142名,うち県外4校8名)	県民会館	放送専門部
9	19	木	東北地区高等学校文化連盟放送部会理事会	仙台市青年文化センター	東北高文連
10	4	金	第36回岩手県高等学校総合文化祭総合開会式 (司会:前沢)	奥州市文化会館	県高文連 (奥州支部主管)
10	9	水	セミナーサポート事業 メディアコミュニケーションセミナー	県民会館他	放送専門部
11	5 6	火 水	第36回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第31回岩手県高等学校放送新人大会 (18校・215名・178エントリー)	県民会館	放送専門部
11	19	火	第9回高校生交通安全テレビCMコンテスト	盛岡グランドホテル	協力事業 岩手県
11	24	日	セミナーサポート事業 番組講習会 (11校・82名)	県民会館	放送専門部
12	23	月	セミナーサポート事業 アナウンス朗読講習会 (13校・53名)	県民会館	放送専門部
12	26 27	木 金	校内放送指導者講座 (1名派遣・計7名参加)	千代田放送会館(東京)	全放連・NHK
2	3	月	県高文連第2回理事会	サンセール盛岡	県高文連
2	8 9	土 日	第17回東北高等学校放送コンテスト (12校・74名・36エントリー)	仙台市青年文化センター	東北高文連
2	17	月	第3回理事会	盛岡北高	放送専門部
2	下旬		会計監査・盛岡第四高へ引継ぎ	盛岡北高	放送専門部
3	26	水	番組講習会	アイーナ	盛岡支部

(1) 大会事業 (全結果は巻末に掲載)

・いずれも第 36 回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会として開催しました。

ア 第 60 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト岩手県大会 6 月 3 日(月)-4 日(火) 県民会館

・NHK 杯全国大会(平成 25 年 7 月)の予選として実施。

イ 第 31 回岩手県高等学校放送新人大会 11 月 6 日(水) 県民会館

・東北高等学校放送コンテスト(宮城大会,平成 26 年 2 月)ならびに第 38 回全国高等学校総合文化祭放送部門(茨城大会,平成 26 年 8 月)の予選として実施。

・第 38 回全国高総文祭参加推薦は次のとおり。

アナウンス部門...宮古(2)西野将弘,盛岡白百合(1)佐藤穂乃可,宮古(2)佐々木優子

朗読部門...宮古(2)熊谷朔矢,盛岡第三(2)鎌田玲暢,黒沢尻北(2)菊池優希

オーディオピクチャー部門...黒沢尻北,ビデオメッセージ部門...盛岡第一,花巻北

ウ 上位大会等 (担当:宮古工業高校・菊地達哉)

第 13 回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト 7 月 1 日(月)-2 日(火) 安比高原
岩手県高文連放送専門部の主管で実施。

第 60 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト 7 月 22 日(月)-25 日(木) NHK ホール他
アナウンス部門で 6 年ぶりの決勝進出,入賞 8,60 回記念イベント入賞 2。

第 37 回全国高等学校総合文化祭放送部門 8 月 3 日(土)-4 日(日) 諫早文化会館
入賞なし(3 年ぶり)。

第 17 回東北高等学校放送コンテスト 2 月 8 日(土)-9 日(日) 日立システムズホール
ラジオキャンペーンとテレビキャンペーンで最優秀賞,入賞 10。

アナウンス部門	盛岡第三(1)	櫻 茜理	優良賞(4~6 位相当)
	宮古(2)	西野 将弘	入選(7~10 位相当)
	宮古(2)	木村 愛	奨励賞(11~20 位相当)
	宮古(2)	佐々木 優子	奨励賞(11~20 位相当)
朗読部門	宮古(2)	沼崎 航太	優良賞(4~6 位相当)
	盛岡第一(1)	八重樫 里実	奨励賞(11~20 位相当)
ラジオキャンペーン部門	盛岡第一	僕の一生	最優秀賞
	宮古	お使いは 5 分で	優良賞(4~6 位相当)
テレビキャンペーン部門	宮古工業	毎朝,前へ	最優秀賞
	盛岡第一(1)	前にススメ	優秀賞(2~3 位相当)

(2) 講習会事業

・セミナーサポート事業，盛岡支部事業，上位大会関連事業，協力事業関連として実施しました。

ア 放送専門部・盛岡支部主催

アナウンス朗読講習会 7月13日(土) NHK 盛岡放送局

上原康樹アナ・高橋秀和アナ(NHK 盛岡局)による全国大会出場者への指導。

放送講習会 9月15日(日) 県民会館

広島井口高等学校放送部 永尾和子先生と草野茜さん(2年)・白川愛花さん(2年)を招聘。県外からも4校が参加。

メディアコミュニケーションセミナー 10月9日(水) 県民会館・テレビ岩手

岩瀬弘行・中野圭(テレビ岩手)，加藤久智・高橋典子(IBC 岩手放送)各氏による部門別の講習。

番組講習会 11月24日(日) 県民会館

中野圭氏(テレビ岩手)による東北大会出場校への指導。

アナウンス朗読講習会 12月23日(月) 県民会館

安田知博氏による東北大会出場者等への指導。

番組講習会 3月26日(水) アイーナ，盛岡支部主催

瀬川徹夫氏による指導を予定。

イ 上位大会関連・協力事業関連

第9回高校生交通安全テレビCMコンテスト・制作講習会

7月20日(土)・27日(土)・11月19日 岩手県ほか主催，IBC 岩手放送によるCM制作についての指導。講習会は2回同内容で計9校91名参加。

Nコン番組制作セミナー 7月26日(木) 東京 NHK ふれあいホール

NHK杯全国大会後に東京で実施。桑山裕明氏(NHK制作局デスク)他による指導。盛岡第一・盛岡第二・岩手・黒沢尻北・宮古工業の5校参加。

第8回全国高校生短歌大会司会・講習会 8月10日(土)・21日(水)-23(金) 盛岡劇場ほか畑中美耶子氏による指導。6校が担当。

その他

・高総体開会式司会 5月21日 運動公園...盛岡第一高校・盛岡第二高校

・IAT 純情応援歌 5-7月

・県高総文祭総合開会式 10月4日 Zホール...前沢高校

・いわて教育の日のつどい 11月1日 盛岡劇場...宮古高校

(3) 顧問研修事業

ア 校内放送指導者講座(12/26-27, 千代田放送会館)...1名派遣, 1名参加補助をおこない, 合計7名が参加。この講座への岩手からの参加者は累計25名(複数回参加を除く)となり, 指導力・審査力の向上につながっています。

(4) その他

ア 部員数調査...第2回理事会で報告。

イ 高文連表彰...第2回理事会で報告。次のとおり県高文連に推薦し, 表彰を受けています。
連盟賞(生徒表彰)...平成24年9月1日~平成25年8月31日に全国大会(総文祭・NHK杯など)で優良賞(3位)以内に入賞した個人及び部(団体)。
・黒沢尻北高校 千葉紗也香...第60回NHK杯全国高校放送コンテストアナウンス部門優秀賞。
功労賞(教職員表彰)...平成24年度末に退職した教職員で, 専門部長・指導者として全国大会優良賞(3位)以内に入賞したもの, 指導者として全国大会に10回以上出品・出演させたもの。
・佐野武徳先生...盛岡北高校長で退職, 前専門部長。
・吉田文夫先生...花巻南高校長で退職, 平成18年度全国総文祭(京都)VM部門優秀賞(黒沢尻北高), 平成16年度全国総文祭(徳島)AP部門特別賞(黒沢尻北高)ほか全国大会出場多数。

報告 2 会計中間報告

(1) 一般会計中間報告 (平成 26 年 2 月 10 日現在)

1 収入の部

(単位: 円)

項目	予算額	決算額	予算残高	備考
A 前年度繰越	110,213	110,213	0	
B 登録料	190,000	170,000	-20,000	1校あたり ¥10,000 × 17校
C 参加料				
C-01 NHK杯県大会参加料	160,000	162,000	2,000	1エントリーあたり1,000
C-02 新人大会参加料	160,000	148,000	-12,000	1エントリーあたり1,000
参加料小計	320,000	310,000	-10,000	
D 補助金				
D-01 県高総文祭部門費	80,000	80,000	0	NHK杯・新人大会各40,000
D-02 セミナーサポート費	430,000	430,000	0	講習会430,000
D-03 強化費	40,000	40,000	0	NHK杯40,000
D-04 専門部補助	170,000	170,000	0	NHK杯100,000・新人大会70,000
D-05 研修費	40,000	40,000	0	新人大会40,000
補助金小計	760,000	760,000	0	
E 雑収入	787	33	-754	利息
合計	1,381,000	1,350,246	-30,754	

2 支出の部

項目	予算額	決算額	予算残高	備考
A 運営費				
A-01 分担金	40,000	30,000	10,000	東北高又連放送部会費・東北県参加料
A-02 事務費	1,000	290	710	事務費・通信費・会議費
A-03 旅費	50,000	1,000		第3回理事会等
運営費小計	91,000	31,290	10,710	
B 事業費				
B-01 NHK杯県大会	350,000	246,556	103,444	事業予算・決算別途
B-02 新人大会	340,000	309,130	30,870	事業予算・決算別途
B-03 講習会	450,000	534,819	-84,819	事業予算・決算別途
B-04 研修事業	10,000	60,780	-50,780	全国研修会派遣補助等
事業費小計	1,150,000	1,151,285	-1,285	
C 予備費	140,000	0	140,000	
総計	1,381,000	1,182,575	149,425	

3 残高

収入済額 - 支出済額 = 1,350,246 - 1,182,575 = 167,671 (次年度繰越金)

- ・年度内の出納として、雑収入(利子)と、第3回理事会旅費の支出がある見込み。
- ・次年度第1回理事会で決算報告をおこなう。
- ・登録料について、被災校の免除(6校 60,000円)をおこなった。登録料の前年度決算額との増減は20,000円の増。

(2) 事業費会計 NHK 杯県大会 決算報告 (第2回理事会で承認済み)

1 収入の部

(単位: 円)

項目	予算額	決算額	予算残高	備考
1 参加料	160,000	162,000	2,000	一般会計収C-01
2 県高総文祭部門費	40,000	40,000	0	一般会計収D-01
3 専門部補助	100,000	44,556	-55,444	一般会計収D-04
4 強化費	40,000	0	-40,000	一般会計収D-03
5 一般会計より	10,000	0	-10,000	一般会計収B
合計	350,000	246,556	-103,444	

2 支出の部

項目	予算額	決算額	予算残高	備考
A 報償費				
A-01 審査員謝金	20,000	0	20,000	NHK以外の専門職審査員の場合1名
A-02 表彰費	45,000	42,240	2,760	楯(最優秀賞・優秀賞)
報償費小計	65,000	42,240	22,760	
B 旅費				
B-01 県大会関係	60,000	67,251	-7,251	第1回理事会・設営等
B-02 上位大会関係	115,000	45,600	69,400	担当者会議・全国大会運営委員
旅費小計	175,000	112,851	62,149	
C 需用費				
C-01 食糧費	60,000	54,480	5,520	審査員・係昼食
C-02 資料費	10,000	2,835	7,165	事務用品
需用費小計	70,000	57,315	12,685	
D 役務費	5,000	1,885	3,115	郵券・上位大会手続き・手数料
E 予備費	35,000	32,265	2,735	上位大会被災校参加料
総計	350,000	246,556	103,444	

3 残高

収入済額 - 支出済額 = 246,556 - 246,556 = 0

監査の結果、適正と認めます。

平成25年9月6日

監査 菊池博之

監査 水車明子

- ・参加料について、被災校・被災者の免除(7校 33 エントリー-33,000 円)をおこなった。参加料の前年度決算額との増減は 8,000 円の増。
- ・予備費から、被災校・被災者の東北高等学校アナウンス朗読コンテスト参加料と手数料(1校 3名 7,605 円) NHK 全国高校放送コンテスト参加料と手数料(2校 5 エントリー-24,660 円)を支出した。
- ・支出決算額の前年度決算額との増減は 9,563 円の増。

協議 1 事業費会計決算報告

(1) 事業費会計 新入大会 決算報告

1 収入の部

(単位: 円)

項目	予算額	決算額	予算残高	備考
1 参加料	160,000	148,000	-12,000	一般会計収C-02
2 県高総文祭部門費	40,000	40,000	0	一般会計収D-01
3 専門部補助	70,000	120,395	50,395	一般会計収D-04
4 研修費	40,000	0	-40,000	一般会計収D-05
5 一般会計より	30,000	735	-29,265	一般会計収B
合計	340,000	309,130	38,395	

2 支出の部

項目	予算額	決算額	予算残高	備考
A 報償費				
A-01 審査員謝金	80,000	80,000	0	20,000*4
A-02 表彰費	50,000	49,510	490	楯(最優秀賞・優秀賞)
報償費小計	130,000	129,510	490	
B 旅費				
B-01 県大会関係	60,000	65,420	-5,420	第2回理事会・設営等
B-02 上位大会関係	35,000	18,020	16,980	高文連全国放送専門部・東北理事会
旅費小計	95,000	83,440	11,560	
C 需用費				
C-01 食糧費	50,000	39,830	10,170	審査員・係昼食
C-02 資料費	10,000		10,000	事務用品
需用費小計	60,000	39,830	20,170	
D 役務費	5,000	3,350	1,650	郵券・上位大会手続き・手数料
E 予備費	50,000	53,000	-3,000	上位大会被災校参加料
総計	340,000	309,130	30,870	

3 残高

$$\text{収入済額} - \text{支出済額} = 309,130 - 309,130 = 0$$

監査の結果、適正と認めます。

平成26年2月17日

監査 菊池博之
監査 水車明子

- ・参加料について、被災校・被災者の免除(3校 30 エントリー-30,000 円)をおこなった。参加料の前年度決算額との増減は 1,000 円の増。
- ・予備費から、被災校・被災者の東北高等学校放送コンテスト参加料(2校 12 エントリー-60,000 円)、全国高総文祭参加料(2校 3 エントリー-3,000 円)を支出した。
- ・支出決算額の前年度決算額との増減は 78,238 円の減(全国理事が引率だったことによる)。

(2) 事業費会計 講習会事業 決算報告

1 収入の部

(単位: 円)

項目	予算額	決算額	予算残高	備考
1 セミナーサポート費	430,000	430,000	0	一般会計収D-02
2 強化費		40,000	40,000	一般会計収D-03
3 専門部補助		5,049	5,049	一般会計収D-04
4 研修費		40,000	40,000	一般会計収D-05
5 一般会計より	20,000	19,770	-230	一般会計収B
合計	450,000	534,819	84,819	

2 支出の部

項目	予算額	決算額	予算残高	備考
A 報償費	150,000	137,982	12,018	講師謝礼@20,000/日
B 旅費				
B-01 講師旅費	200,000	272,830	-72,830	高文連規定による定額
B-02 講師宿泊費	60,000	68,600	-8,600	高文連規定による定額
旅費小計	260,000	341,430	-81,430	
C 需用費				
C-01 資料作成費			0	
C-02 印刷代			0	
C-03 教材作成費			0	
C-04 講師昼食代	30,000	22,539	7,461	講師・役員
C-05 消耗品費		2,558	-2,558	名札用紙
需用費小計	30,000	25,097	4,903	
D 役務費				
D-01 郵便料金		310	-310	
D-02 宅配料金			0	
D-03 運搬費			0	
D-04 振込手数料			0	
D-05 その他通信費			0	
役務費小計	0	310	-310	
E 使用料・賃借料				
E-01 会場費	5,000	30,000	-25,000	3月番組講習会補助
E-02 機器使用料	5,000		5,000	
使用料・賃借料小計	10,000	30,000	-20,000	
F 予備費		0	0	
総計	450,000	534,819	-84,819	

3 残高

収入済額 - 支出済額 = 534,819 - 534,819 = 0

監査の結果、適正と認めます。

平成26年2月17日

監査

菊池博之

監査

水車明子

・事業ごとの支出額は次のとおり。

昨年度決算額比

アナウンス朗読講習会(7/13)	5,100 円	150 円減
放送講習会(9/15)	295,443 円	149,399 円増
メディアコミュニケーションセミナー(10/9)	102,588 円	208 円増
番組講習会(11/24)	27,746 円	1,871 円減
アナウンス朗読講習会(12/23)	73,942 円	74,107 円減
番組講習会(3/26) への補助	30,000 円	0 円
合計	534,819 円	73,479 円増

協議 2 平成 26 年度事業の推進について

(1) 役員(改選期)

ア 役員選出に関する細則の附則第 2 による同細則別表 1 および別表 2 の検討

- ・別表 2 の学校がいずれも理事校(大会に参加している学校)であることから、改定しないことを提案します。

イ 平成 26 年度役員 (規約・細則に基づく確認)

- ・別表 2 により、事務局は盛岡第四高校に移ります。
- ・役員の割当ては、規約第 9 条ならびに役員選出に関する細則の別表 1 によります。平成 26 年度理事総会(第 1 回理事会)で正式決定します。
- ・平成 26 年度の顧問が決まり次第、事務局にお知らせください。
- ・現在の理事校で顧問が交代する場合は、引き続き理事校であることを引き継いでください。
- ・今年度新たに大会に参加した学校(理事会オブザーバーの花北青雲、久慈東)は、平成 25 年度も大会に参加する場合、理事校とします。
- ・平成 26 年度に新たに大会に参加する学校があれば、今年度と同様、理事会のオブザーバーとします。

(2) 事業計画

ア 事業の日程 (第 2 回理事会までに協議済み)

従来どおり、大会事業・講習会事業・顧問研修事業・その他の4つで構成します。次の日程原則により、次ページのとおり会場を確保しています。それぞれの要項は、9月までのものは第1回理事会で、10月以降のものは第2回理事会で検討します。

日程原則

- ・第 1 回理事会(理事総会)...4 月中・下旬
- ・NHK 杯県大会(県民会館)...6 月第 2 週の月曜・火曜(高総体後・考査前)
- ・セミナーサポート事業 アナウンス朗読講習会(NHK 盛岡局 ,全国大会出場者対象)...7 月中旬(NHK 盛岡局との協議により決定)
- ・第 2 回理事会...9 月上旬
- ・セミナーサポート事業 放送講習会(県民会館)...9 月 3 連休(以上)の中日(県外校招聘のため)
- ・セミナーサポート事業 メディアコミュニケーションセミナー(県民会館)...体育の日の翌々日の水曜(高総文祭開会式後、新人大会決勝との曜日の一致)
- ・新人大会(県民会館)...11 月第 2 週の火曜・水曜(運動部の新人大会後・考査前)
- ・セミナーサポート事業 番組講習会(県民会館、東北大会出場者対象)...11 月下旬の日曜(TVI との協議により決定)
- ・セミナーサポート事業 アナウンス朗読講習会(県民会館 ,東北大会出場者対象)...天皇誕生日(終業式後)
- ・第 3 回理事会...2 月中旬

月	日	曜	事業名 (太字は生徒参加の事業)	会場	主催者 (太字は主催)
4	中・下旬		理事総会・第1回理事会	盛岡第四高	放送専門部
6	2 3	月 火	第37回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第61回NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会	県民会館	放送専門部・NHK
6 7	30 1	月 火	第14回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト	細野地区活性化センター	東北高文連 主管事業
7	5 6	土 日	NHK杯全国高校放送コンテスト担当者会議	NHK放送センター(東京)	全放連・NHK
7	中旬		セミナーサポート事業 アナウンス朗読講習会	NHK盛岡放送局	放送専門部
7	21 24	月 木	第61回NHK杯全国高校放送コンテスト	NHKホール他(東京)	全放連・NHK
7	24	木	Nコン番組制作セミナー	(東京)	全放連・NHK
7	29	火	高文連全国放送専門部理事会	茨城県日立市 ホテルテラスザスクエア日立	全国高文連
7	30 31	水 木	第38回全国高等学校総合文化祭(茨城大会)放送部門	日立シビックセンター	全国高文連
9	上旬		第2回理事会	盛岡第四高	放送専門部
9	14	日	セミナーサポート事業 放送講習会	県民会館	放送専門部
9	中旬		東北地区高等学校文化連盟放送部会理事会	(山形県)	東北高文連
10	10	金	第37回岩手県高等学校総合文化祭総合開会式	県民会館	県高文連 (盛岡支部主管)
10	15	水	セミナーサポート事業 メディアコミュニケーションセミナー	県民会館他	放送専門部
11	4 5	火 水	第37回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第32回岩手県高等学校放送新人大会	県民会館	放送専門部
11	23	日	セミナーサポート事業 番組講習会	県民会館	放送専門部
12	23	火	セミナーサポート事業 アナウンス朗読講習会	県民会館	放送専門部
12	26 27	金 土	校内放送指導者講座	千代田放送会館(東京)	全放連・NHK
2	7 8	土 日	第18回東北高等学校放送コンテスト	山形テルサ	東北高文連
2	中旬		第3回理事会・会計監査	盛岡第四高	放送専門部
3	下旬		番組講習会	(盛岡)	盛岡支部

イ 参加料の改定（会計事務に関する細則第4条）

2月3日の県高文連理事会で、平成26年度の県高文連からの補助金が、今年度よりも88,500円減額されることが通知されました。これは県高文連の財政状況による平成26年度限りの措置で、会費値上げによって、平成27年度にはある程度補助金を戻すとのことです。

放送専門部としては、平成26年度の事業内容が確定していることから、実施のためには補助金の減額に相当する財源が必要です。そこで、平成26年度に限り、次の措置をとることを提案します。

- ・大会参加料を、現行の1エントリー当たり1,000円から、1,200円に改定する。
- ・平成27年度以降については、県高文連補助金額が明らかになり次第、検討する。

今年と同じエントリー数の場合、参加料収入は62,000円増えます。不足の26,500円は、予備費（次年度繰越金相当）で吸収します。

エントリー数の多い学校の負担が多くなりますが、今年度おこなった登録料の一本化（個人登録料の廃止・学校登録料の値上げ）ではエントリー数の少ない学校の負担が増えたことから、ご理解いただきたいと思います。

また、専門部への県高文連補助のうち、会計にあらわれないものとして、県民会館の使用料、大会のプログラムパンフレットの印刷代、大会の看板代があります。これらについて、2月3日の県高文連理事会では見直しの指示はありませんでしたが3月番組講習会（盛岡支部事業）をセミナーサポート事業に組み込むことは認められませんでした。

協議3 その他

連絡 1 平成 26 年度以降の上位大会

(1) 確定している日程等 (第 2 回理事会で連絡済み)

ア NHK 杯全国高校放送コンテスト全国大会決勝の日

平成 26 年 61 回大会 平成 26 年 7 月 24 日(木)

平成 27 年 62 回大会 平成 27 年 7 月 23 日(木)

平成 32 年 67 回大会については、東京オリンピックとの関係で、関西での開催を準備中。

イ 全国高等学校総合文化祭開催県

平成 26 年 38 回大会 茨城県 7 月 30 日(水)-31 日(木) 日立シビックセンター

平成 27 年 39 回大会 滋賀県 7 月 31 日(金)-8 月 1 日(土) 栗東芸術文化会館さくら

平成 28 年 40 回大会 広島県 平成 29 年 41 回大会 宮城県

平成 30 年 42 回大会 長野県 平成 31 年 43 回大会 佐賀県?

平成 32 年 44 回大会 高知県? 平成 33 年 45 回大会 和歌山県?

平成 34 年 46 回大会 東京都? 平成 35 年 47 回大会 鹿児島県?

ウ 東北高等学校放送コンテスト開催県

平成 26 年度 18 回大会 山形県 2 月 7 日(土)-8 日(日) 山形テルサ

平成 27 年度 19 回大会 秋田県 2 月 6 日(土)-9 日(日) 秋田県民会館・ジョイナス

平成 28 年度 20 回大会 青森県 平成 29 年度 21 回大会 岩手県

平成 30 年度 22 回大会 宮城県 平成 31 年度 23 回大会 福島県

秋田から時計回りを原則とする。21 年度からの 3 回目めのローテーションでは、23 年度の全国総文祭に備えて 22 年度に福島県を入れ、他をずらした。27 年度からの 4 回目めのローテーションでは、29 年度の全国総文祭に備えて 28 年度に宮城県を入れ、他をずらす可能性もある。

(2) 第 61 回 NHK 杯全国高校放送コンテストについて (第 2 回理事会で連絡済み)

http://www.nhkk.or.jp/ncon/ncon_h/

ア 朗読指定作品

1) 「地獄変・偷盗」芥川龍之介(新潮文庫)

2) 「残るは食欲」阿川佐和子(新潮文庫)

3) 「神去(かむさり)ななあ日常」三浦しをん(徳間文庫)

4) 「怪談 - 不思議なことの物語と研究」ラフガディオ・ハーン著、平井呈一訳(岩波文庫、指定された訳者のみ)

5) 「平家物語」(現代語訳不可、出版社不問)

(3) 第38回全国高等学校総合文化祭(茨城)放送部門について <http://www.edu.pref.ibaraki.jp/soubun2014/>

ア 準備日程

- ・ 宿泊等...3月1日(土)からサポート室で受付開始?
- ・ 部門別参加票などの締切...4月18日(金)?
- ・ 提出物一式の締切...5月1日(木)宮古工業必着, 茨城必着は5月7日(水)-13日(水)

イ 担当

- ・ アナウンス部門・朗読部門...宮古高校・山崎治子
- ・ 番組2部門...盛岡第一高校・濱谷伸広

ウ 発表ブロック (第2回理事会で連絡済み)

- ・ アナウンス部門...ブロックF(北海道・岩手・福島・石川・山口・沖縄)
- ・ 朗読部門...ブロックA(岩手・山形・長野・奈良・広島・福岡)
- ・ オーディオピクチャー部門...ブロックA/B(岩手・栃木・奈良・福岡・長崎・鹿児島 / 北海道・栃木・東京・新潟・愛知・宮崎)
- ・ ビデオメッセージ部門...ブロックA(岩手・栃木・奈良・福岡・長崎・鹿児島)

エ 高文連全国放送専門部について (第2回理事会で連絡済み)

- ・ 規約の改定...理事会で規約の改正をおこなった。
- ・ 表彰...平成24年(富山大会)から, 発表時間帯でブロックに分け, 個別審査で各ブロックから優秀賞1・特別賞を出し, 個々の審査点を都道府県ごとに加算して第1位の都道府県に文部科学大臣賞を, 第2位に文化庁長官賞を出すこととした。平成25年度の文部科学大臣賞は北海道, 文化庁長官賞は長野県が選ばれた。
- ・ 表彰に関する問題点...開催県は倍エントリーであるため複数ブロックに入ることとなり, 文部科学大臣賞・文化庁長官賞のための集約で有利である。また, 個別の審査点については公表されておらず, さらに何位までを加算対象にするのかも明らかにされていない。
- ・ 発表形態に関する問題点...都道府県ごとの発表がばらばらにされてしまい, 交流の場という「開催基準」にあわない実態となっている。各部門における都道府県単位の発表(岩手案)についての検討は, 保留となった。
- ・ 組織に関する問題点...年1度の理事会では合意形成が難しいことから, 6県会議(全国総文祭開催前後6県)を基本に常任理事会を構成し, ここで原案をつくって理事会で承認する方式で今後のあり方を検討することを, 岩手県として提案している。

(4) 第18回東北高等学校放送コンテストについて

- ・ 平成27年2月7日(土)-8日(日) 山形テルサ
- ・ キャンペーン部門のキーワード: 時(とき)

連絡2 平成27年度の事業日程(予定)

・協議2(2)アの日程原則により、次のとおり会場を予約しています。

月	日	曜	事業名 (太字は生徒参加の事業)	会場	主催者 (太字は主催)
4	中・下旬		理事総会・第1回理事会	盛岡第四高	放送専門部
6	8 9	月 火	第38回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第62回NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会	県民会館	放送専門部・NHK
6	29 30	月 火	第15回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト	細野地区活性化センター	東北高文連 主管事業
7	4 5	土 日	NHK杯全国高校放送コンテスト担当者会議	NHK放送センター(東京)	全放連・NHK
7	中旬		セミナーサポート事業 アナウンス朗読講習会	NHK盛岡放送局	放送専門部
7	20 23	月 木	第62回NHK杯全国高校放送コンテスト	NHKホール他(東京)	全放連・NHK
7	23	木	Nコン番組制作セミナー	(東京)	全放連・NHK
7	30	木	高文連全国放送専門部理事会	滋賀県栗東市 栗東芸術文化会館さくら	全国高文連
7 8	31 1	金 土	第39回全国高等学校総合文化祭(滋賀大会)放送部門	栗東芸術文化会館さくら	全国高文連
9	上旬		第2回理事会	盛岡第四高	放送専門部
9	20	日	セミナーサポート事業 放送講習会	県民会館	放送専門部
9	中旬		東北地区高等学校文化連盟放送部会理事会	(秋田県)	東北高文連
10	中旬?		第38回岩手県高等学校総合文化祭総合開会式	久慈市文化会館?	県高文連 (久慈支部主管)
10	14	水	セミナーサポート事業 メディアコミュニケーションセミナー	県民会館他	放送専門部
11	10 11	火 水	第38回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第33回岩手県高等学校放送新人大会	県民会館	放送専門部
11	29	日	セミナーサポート事業 番組講習会	県民会館	放送専門部
12	23	水	セミナーサポート事業 アナウンス朗読講習会	県民会館	放送専門部
12	下旬		校内放送指導者講座	千代田放送会館(東京)?	全放連・NHK
2	6 7	土 日	第19回東北高等学校放送コンテスト	秋田県民会館・ジョイナス	東北高文連
2	中旬		第3回理事会・会計監査	盛岡第四高	放送専門部
3	下旬		番組講習会	(盛岡)	盛岡支部

連絡 3 その他

(1) 盛岡支部主催番組講習会について

担当：岩手高校・松田満

3月26日(水) アイーナ 804A 会議室 講師：瀬川徹夫 氏

参加料 300 円/人

3/12 までに参加者名簿を添付して担当に参加申込み

(2) 県高文連理事会報告

ア 総合開会式の会場と担当

平成 26 年度盛岡支部(岩手女子高校)...専門部としての提案等は，2/21 までに松田へ。

平成 27 年度久慈支部，平成 28 年度花巻支部，平成 29 年度盛岡支部

イ 県高文連の財政状況

- ・協議 2(2)イのとおり。
- ・県民会館使用に係る減免分の県高文連負担額については，600 万円を上限とする。いまのところ 627 万円の見通しで，超過分は県高文連で負担する予定。
- ・被災校に対する県高文連会費の免除は平成 25 年度で終了する。

ウ 全国総文祭の生徒旅費補助

平成 25 年度は 7,500 円×2 泊を補助。平成 26 年度については不明。

エ その他

(3) 顧問メーリングリストについて

- ・yahoo のメーリングリストのサービスが 5 月 28 日に廃止されることから，4 月からは，別のメーリングリストに移行します。

(4) 旅費の計算について

- ・理事会の旅費は，専門部が負担します。旅費の算出・報告をお願いします。
- ・各校の事務室で出張の実態(発着地，通勤経路との関係，私用車公用の有無など)にあわせて算出してもらい，理事会出席の報告時に，交通費(運賃・車賃)・現地経費を報告してください。

(5) 県高文連登録について

新年度の県高文連登録(顧問名登録ならびに生徒登録)の際は，委員会組織の場合も手続きをするよう，各校でお取り計らい下さい。

(6) その他

県高文連紀要原稿について，気付いたことがあれば事務局・田口へ。

資料 平成 25 年度大会結果

(省略 放送専門部のサイト参照 <http://www2.iwate-ed.jp/housou/2013/>)

資料 岩手県高等学校文化連盟放送専門部規約

(省略 第 1 回理事会資料参照 <http://www2.iwate-ed.jp/housou/2013/bod20130425.pdf>)

資料 平成 25 年度高文連紀要原稿

(省略 当日配布)